

# 夢を追う卒業生 その1 平成30年9月10日

## 思い立ったらすぐ行動！私の夢の見つけ方

◇今回は、石丸莞那さん（関西学院大学文化歴史学科）のレポートです！

### ごあいさつ

こんにちは。2016年に関高校を卒業した石丸莞那です。現在は関西学院大学(文学部文化歴史学科日本史学専修)の3回生です。今回は私の学生生活についてお話したいと思っています。みなさまの進路選択の参考になれば幸いです。

### 関西学院大学を選んだ理由

進路の決め方は、将来の夢だけではないと私は考えています。

よく言われたのは「文学部にいて将来どうするの？」という言葉でした。確かに、文学部で学ぶ内容が将来役に立つ仕事というのは限られてしまいますよね。けれども私は大学というところは好きなことを学ぶことを許された4年間だと考えていたので将来なにかになりたいからとは全く考えていませんでした。私にとっては、やりたいことが出来るということが大前提でした。

私が関西学院大学を選んだのは、関西に住んでみたいという思いと歴史を学びたいというのが大きな理由です。関学は歴史のある大学で史料も多く揃っていたので歴史が好きな私にとってはとても魅力的でした。なので、好きなことが学べて自分の世界が広げられそうなこの関学を選びました。

もちろん、将来の夢に向けて学ぶための進路選択も大事だと思います。けれども選び方はそれだけではありません。私のような選択の仕方でも大学に入るとたくさんの出会いがあります。ただ文学部だからといって選択肢が狭まるわけではない、ということをお伝え出来たらと思います。

### 大学での生活

大学では日本史学の古代史を専攻しています。

古代史は現在の日本にいたる起源がたくさん見られます。古代に残された史料はすくないので研究の際は史料を探ることが困難ですが、深めていくことで複数の事柄が繋がっていくことがとても楽しいです。学校には古文書が多く残っているので、古文書の扱い方も学べます。

4回生では自分でテーマを決めて研究していきます。自分らしい観点で研



究を進めていきたいと考えています。

## 全ては自分次第

私は現在、女子大生団体に所属しながらプロライターとしても活動をしています。

学生といえば部活やサークルのイメージがあるので学生団体というのはあまり聞かないかもしれませんが、私の所属している団体が主におこなっているのは企業のプロモーション活動です。学生だからできる学生へのアプローチの仕方です。様々な企業とコラボレーションをしています。その中で私は Web メディアの運営を担当しています。

なぜこの団体に入ったのかというと、先ほどから言っているように学生の間には何か私にしかできないものを見つけたいと思っていました。元から書くことが好きだった私は書くという仕事で学生の間には何か出来ることはないか、と考えていました。そんな時にたまたまであったのがこの団体でした。学生ならではの活動内容なのに社会にでも通用するスキルを身につけられる、理想的な団体でした。ライターという仕事をしただけでもこの活動がきっかけです。

初めはなんとなく書いた記事でしたが、学んでいくととても奥の深い仕事でした。ありがたいことにお仕事のオファーもいただいて現在はメディアの編集長をしながら 4 つのメディアでライティングをしています。ライティング以外にも企業の方にノウハウを伝える講師などもおこなっており、普通に学生生活をしていたら経験が出来ないことばかりを経験させていただいています。



## 運営しているメディア (<http://kawaii-japan.org/>)

私が皆さんに伝えたいのは、大学生だからといって何もしないで過ごすのは絶対にもったいないということです。大学生の間にも出来ることはたくさんあります。しかし逆に言えば、何もしなければ普通に普通の生活で過ごせます。あなただったらどちらの学生時代を送りたいでしょうか。私は絶対前者です！与えられたことをこなすだけの人より、自分で頑張れる人のほうがきっと社会で輝きます。

私は後先考えないで思い立ったら行動するタイプです。関西に行ったのもそうですし、団体に入ったのもそうです。しかし何も後悔していません。関西にこななければ今の仕事には巡り合えていなかったかもしれませんが、団体に入っていなければライターの楽しささえ知ることはできませんでした。私の周

りから聞こえる声に「どうせ文学部だから。」という声があります、けれどもそれは違うと思うんです。学生時代をどう活かすのかは自分次第だと強く感じています。



(左)団体のメンバーとの写真

(右)講演会に登壇したときの様子

### さいごに

つらつらと語ってきましたが私自身は高校生の間どちらかというと、できない学生でした。しかし、他では経験できないような楽しく充実した学生生活を送っています。これは自分の行動力のおかげだと考えています。挑戦することは失敗もありますが、挑戦しなければ成長できません。学生の間は失敗を恐れなくて行動出来るのが魅力的ですよ。

大学はまだ終着点ではありません、私にとっては大学に行ってからが始まりでした。学生時代におこなったことを自信をもって社会に出ていきたいと私は考えています。

やりたいことのためだと結構頑張れるものです、こんな自分になりたい。という理想をもって納得のいく楽しい学生生活を送ってくださいね。